

 西岡化建株式会社

2025年度

環境経営レポート

対象期間：2024年9月21日～2025年9月20日

発 行：2025年10月25日



西岡化建はおかげさまで創業50周年

1975 → 2025

これまでの50年に感謝 これからの50年に挑戦

50th
ANNIVERSARY



Environmental Management Report 2025

西岡化建の取り組みをご覧ください



contents

西岡化建のあゆみ	P3
トップメッセージ	P4
環境経営方針・経営理念	P6
組織の概要と認証・登録の対象組織・活動	P7
環境経営システム	P8
環境関連法規等の遵守状況確認および評価ならびに違反、訴訟等の有無	P8
主な環境負荷の実績 環境目標・実績	P9
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画	
電力による二酸化炭素排出量の削減	P10
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	P12
廃棄物排出量の削減	P13
水道水使用量の削減	P14
PRTR 物質使用量の削減	P15
グリーン購入・廃棄物の分別方法	P16
環境に配慮した工事の推進	P18
環境施工事例の紹介	P19
社会貢献	P24
環境上の緊急事態への準備および対応	P25
健康と環境保全	P26
外国人の雇用・よりよい職場環境を目指して	P27
生物多様性の保全活動	
NISHIOKA FARM 無農薬有機栽培野菜	P28
緑化活動 花の育成	P28
今期の取り組み	P29
環境経営活動の総括	P30
代表者による全体の評価と見直し・指示	P31

当社におけるSDGsの関連項目

1 持続可能な開発目標 人間を大切にする	P24
2 経済を活性化 食事	P24
3 すべての人に 健康と福祉を	P12.15.20.24.25.26.27.28
4 異なる文化を みんなに	P17.27.28
5 シンergyを育む 健康成長	P26
6 环境や水と土壌 を世界中に	P14
7 エネルギーをみんな に	P10.11.12
8 繁栄しない 資源を保全	P24.25.26.27.29
9 経済と資源循環 をつなぐ	P11.17.25.29
10 人々の平和 をなでます	P24.26
11 環境にやさしい 都市をつくる	P11.12.13.16.19.20.22.24.25.28.29
12 つくる責任 つかう責任	P13.14.15.16.18.19.20.22.24.28
13 環境に 適切な資源を	P11.12.16.25.28
14 環境を守る 生き物	P14
15 緑の豊かな まち	P28
16 平和と公正を すべての人々	P24.25
17 パートナーシップ で世界をよく	P17.20.24.25

西岡化建のあゆみ

エコアクション21を認証・登録してから **14年** 経過しました！

- 1975年 10月 茨木市に西岡化建工業所 創業
- 1978年 10月 法人組織に改め、資本金 200万円にて会社設立
商号を西岡化建株式会社に変更
- 1982年 3月 摂津営業所及び資材倉庫設置
- 1992年 3月 資本金 1,000万円に増資
- 2002年 3月 摂津営業所及び資材倉庫を茨木本社近隣に
移転し、茨木事業所とする
- 2007年 1月 新社屋完成
- 2011年 12月 環境経営システム エコアクション21 認証取得
- 2015年 3月 2号倉庫完成
- 2016年 2月 第19回 環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優良賞受賞
3月 資本金 2,000万円に増資
- 2017年 2月 第20回 環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優良賞受賞
- 2018年 2月 中小企業家同友会全国協議会 2017年度 同友工コ大賞受賞
3月 なにわエコ会議主催 CO2削減コンペ 創意工夫賞受賞
- 2019年 2月 第22回 環境コミュニケーション大賞
環境経営レポート部門 優良賞受賞
2月 中小企業家同友会全国協議会 2018年度 同友工コ奨励賞受賞
- 2020年 2月 新社屋完成
8月 代表取締役会長に西岡勝男 就任
代表取締役社長に西岡若菜 就任
- 2021年 2月 第24回 環境コミュニケーション大賞
環境経営レポート部門 大賞(環境大臣賞)受賞
3月 なにわエコ会議 2020年度 CO2削減・プラスチックごみ削減
コンペ 優良賞受賞
6月 中小企業家同友会全国協議会
2020年度同友工コ大賞(会長賞)受賞
- 2022年 1月 エコアクション21 オブザイナー 2021 銀賞受賞
3月 なにわエコ会議 2021年度 CO2削減・プラスチックごみ削減
コンペ 優秀賞受賞
7月 中小企業家同友会全国協議会 2021年度 同友工コ奨励賞受賞
- 2023年 3月 なにわエコ会議 2022年度 CO2削減・プラスチックごみ削減
コンペ プラスチックごみ削減努力賞受賞
3月 エコアクション21 オブザイナー 2022 銅賞受賞
8月 中小企業家同友会全国協議会 2022年度 同友工コ奨励賞受賞
- 2024年 6月 中小企業家同友会全国協議会 2023年度 同友工コ奨励賞受賞
- 2025年 3月 なにわエコ会議 2024年度 CO2削減・プラスチックごみ削減
コンペ 努力賞受賞
6月 中小企業家同友会全国協議会 2024年度 同友工コ奨励賞受賞



環境コミュニケーション大賞
環境経営レポート部門 大賞



エコアクション21オブザイナー
2021年度 銀賞



エコアクション21オブザイナー
2022年度 銅賞

合成樹脂精製の技術の進化とともに

50年の工事現場を鑑みる施工技術の革新



2025年10月25日

西岡化建株式会社

代表取締役会長 西岡勝男

弊社は1975年10月の創業以来、特殊合成樹脂やそれに伴う間接材料を使用した防水工事、防食工事を主要な業務内容としてきました。また構築物の建設工事や大規模の塗装改修工事などのご用命に応えるため業者登録を順に増やし、現在では防水工事、塗装工事、内装仕上げ工事、左官工事、屋根工事と建築工事の6事業の登録を行っています。2025年10月創業50周年を迎えて、これまでの得意先様や仕入れ先様に深く御礼を申し上げますとともに、一丸となって弊社で頑張ってくれた従業員一同に感謝申し上げます。

建物やインフラ設備の長寿命化を施し、また土地利用を補う屋上駐車場のウレタン複合防水の開発、強酸を扱う工場での防食工事や耐熱工事等製造現場における環境改善など、ニーズに応じた建設工事をご用命いただきました。現場50年の星霜で思いますことは合成樹脂の品質が非常に良くなってきたこと、様々なニーズに応えられるものの開発がなされてきたことに加えて、環境対応の原材料を使用してきたことを弊社の誇りとして、喜ばしく思っています。これまでの期間におけるメーカー様との合成樹脂開発の協創や、工事現場試験施工におけるご協力を誠にありがとうございました。

2011年環境エコアクション21の認定取得をしてからの14年間は、出来ることから始め、設備を要することには投資をし、一連の廃棄物分別や省エネの極意については環境事務局を中心に一同で学び深化することに努力を重ねてまいりました。各公的機関からは環境問題に関する取り組みを評価していただき、連続して受賞させていただきました。それがなお一層の喜びとなり、毎日の環境対応のルーチンワークを継続することができました。弊社は積み上げてきた環境経営をさらに発展させるために、地球環境保全の学びを継続し、地域とともに発展させていきたいと思います。

これからの 50 年も持続可能な社会の構築に 貢献する技術に挑戦し続けます。



2025 年 10 月 25 日
西岡化建株式会社
代表取締役社長 西岡 范菜

私達は建築改修工事を通じて、持続可能な社会の構築を目指してきました。主な事業内容である防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事、躯体補修工事などは、いずれも建築物を水や腐食、自然環境や生産活動による劣化・損傷から守る工事であります。定期的な修繕をすることで建築物や社会インフラの長寿命化、ライフサイクルコストの低減が可能となります。これまでも改修工事を通じて、SDGsの目標「住み続けられるまちづくりを」「産業と技術革新の基盤をつくろう」などの実現を目指してまいりました。中でも当社の主要事業である、バイオガスプラントにおける鋼板製消化槽の内面防食工事、下水処理施設や廃棄物処理施設における重防食工事は、当社が長年培ってきた施工技術と新しい技術が生かされ、これらの環境目標達成やエネルギー・シフト、環境保全に大きく貢献してきたと自負しております。

今年は創業から50年という記念すべき年であります。創業者である会長が50年にわたって培ってきた施工技術を、次の世代に継承すること、これから50年を社員一丸となって作り上げていくことを目指します。建設業においては、労働人口が減少し、技術者の高齢化、若年労働者の減少が問題となっています。技術者の高齢化や人手不足は当社においても他人事ではなく、長年積み上げてきた施工技術を次の若い世代に継承することが喫緊の課題であります。エイジフレンドリー、ジェンダー平等、人種差別の撤廃など、人権尊重の労働環境をつくることが、SDGsを達成しながら当社の課題を解決することにもつながります。人手不足が今後解消されることはない中で、機械化や技術革新による労働生産性の向上も大きな課題となります。そして、機械化や技術革新による生産性向上は、エネルギーの削減、環境負荷の低減にもつながり、労働環境改善が環境保全にもつながっていくのです。

これからも社員と共に、技術研鑽を怠らず、誰に対しても安全で平等な労働環境づくりのために一層努力いたします。今後とも環境経営に真摯に取り組んでまいります。

環境経営方針・経営理念

環境経営理念

西岡化建株式会社は、本業である建設工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に全社員とともに自主的・積極的に継続的改善に取り組みます。

環境保全への行動指針

関連ページ

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。-----  P8
2. 電力・燃料による二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。-----  P10
3. 廃棄物の削減とリサイクルと適正処理を推進します。-----  P12.13
4. 節水行動や作業改善で水使用量を削減します。-----  P14
5. 水性材料の使用により、溶剤の使用量および揮発量の低減に努めます。-----  P15
6. グリーン購入やグリーン調達に努力します。-----  P16
7. 地域の環境活動（資源ごみ回収）に積極的に参加します。-----  P16
8. 特定化学物質を含有しない防水材の使用により、環境負荷低減への取り組みをします。-----  P18
9. 省エネ、エコに繋がる工法を提案し、活動に取り組みます。-----  P19～23
10. 地域社会の強靭化に貢献します。-----  P24
11. 営業力強化を行いインフラの長寿命化を促進することによって企業価値向上に努めます。-----  P25

この環境方針を全従業員に周知し、教育啓発活動を実践していきます。

改定日：2025年01月15日

制定日：2010年10月25日

代表取締役社長 西岡 若菜

経営理念

一、技術の研鑽

私達は、研究開発精神にのっとり、優れた技術を提供し常にお客様の「ニーズ」に応える工事を遂行します。

一、環境の改善

私達は、製造現場における環境改善と、生活環境の向上を提言し、社会から信頼される企業を目指します。

一、より良い工事と共育ち

より良い工事をモットーに、西岡化建は共に働き、共に育ち、社会に貢献する事を目指します。

組織の概要と認証・登録の対象組織・活動

組織の概要

1. 事業者名 西岡化建株式会社
代表名 代表取締役会長 西岡 勝男
代表取締役社長 西岡 若菜
2. 所在地 本社・資材倉庫 大阪府茨木市郡5丁目21番16号
3. 環境管理責任者 専務取締役 西岡 洋子
環境事務局 営業部 小山 さら 前田 祐里
連絡先 TEL 072-643-1125 FAX 072-643-1127
E-mail info@nishiokakaken.com
URL <https://nishiokakaken.com>
4. 事業内容 防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事
建設業許可番号：大阪府知事許可（般-3）第51113号
許可業種：建築工事業・防水工事業・塗装工事業・内装仕上工事業
左官工事業・屋根工事業
5. 資本金 2,000万円
売上高 3億8,060万円
(47期2025年9月実績)
主要工事完成高 232件
6. 事業年度 9月21日～翌年9月20日



認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名 西岡化建株式会社
本社・資材倉庫

	本社	資材倉庫	合計
従業員数	29人	29人	59人
延床面積	467m ²	132m ²	599m ²

男性22名 女性7名 ※2025年9月20日時点

- 弊社の環境活動



環境に配慮した工事
(HACCP対応)



環境に配慮した工事
(TXフリー)



屋根に太陽光パネル
(82枚分) の設置



@nishiokakaken
<https://www.facebook.com/nishiokakaken>

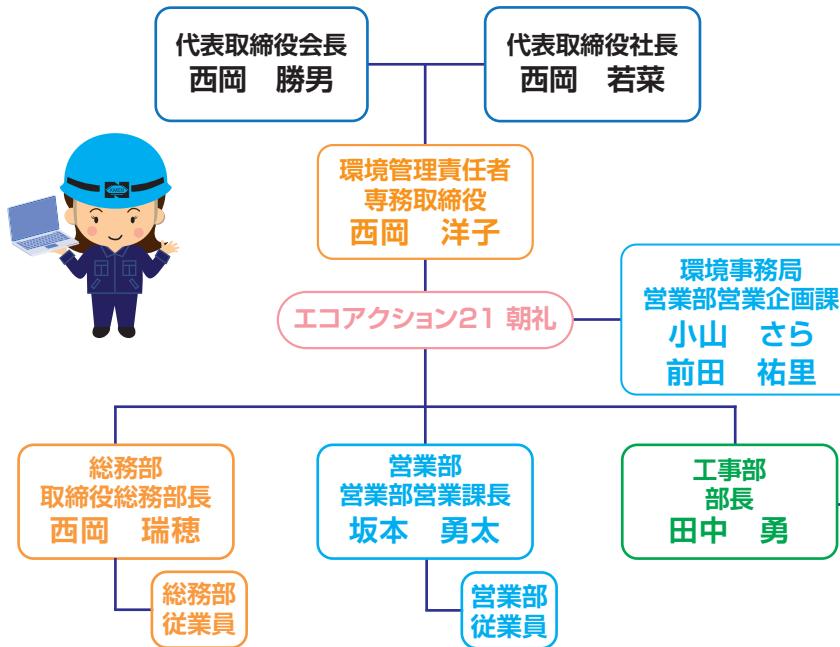
NISHIOKA_HAHEN

弊社ではタイムリーな情報発信を行うために
Instagram、X(旧Twitter)等のSNSに力を
入れています。工事の施工実績や展示会について
発信していますのでぜひご覧ください!

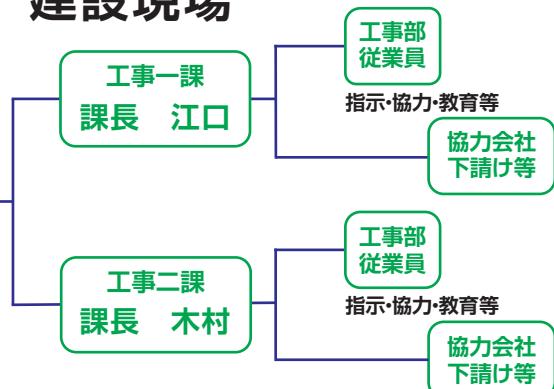
環境経営システム

本社・資材倉庫

更新日:2024年9月21日



建設現場



役割・責任・権限	
【代表者】 代表取締役社長 西岡 若菜	<ul style="list-style-type: none">・環境経営に関する統括責任・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備・環境管理責任者を任命・環境経営方針の策定・見直し・経営の課題とチャンスの明確化・環境目標・環境経営計画を承認・代表者による全体の評価と見直し、指示・環境経営レポートの承認
【環境管理責任者】 専務取締役 西岡 洋子	<ul style="list-style-type: none">・環境経営システムの構築、実施、管理・環境関連法規等の取りまとめ表を承認・環境目標・環境経営計画書を確認・環境活動の取組結果を代表者へ報告・環境経営レポートの確認
【環境事務局】 営業部営業企画課 小山 さら 前田 祐里	<ul style="list-style-type: none">・環境管理責任者の補佐、EA21朝礼の事務局・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施・環境目標・環境経営計画書原案の作成・環境活動の実績集計・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施・環境関連の外部コミュニケーションの窓口・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)

役割・責任・権限	
エコアクション21 朝礼	<ul style="list-style-type: none">・環境経営計画の審議・環境活動実績の確認・評価・朝礼で目標項目の1項目ずつの評価と指示をする。・評価は担当者がする。指示は管理責任者が行う。・記録は活動計画書の3か月ごとにチェック。
【部門長】 総務部 西岡瑞穂 営業部 坂本 勇太 工事部 西岡 正弘	<ul style="list-style-type: none">・自部門における環境経営方針の周知・自部門の従業員に対する教育訓練の実施・自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施・自部門の想定される自己及び緊急事態への対応のための手順書作成・試行・訓練を実施、記録の作成・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none">・環境に関する内部監査の計画・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none">・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

①環境関連法規等の遵守状況確認および評価ならびに違反訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	摘要される事項（施設・物質・事業活動）
消防法	各種溶剤の保管
化学物質排出把握管理促進法	各種溶剤の使用（報告義務対象外）
騒音規制法	該当なし
振動規制法	該当なし
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none">一般廃棄物（事務所から出る紙くず、繊維くず、木くず、生ゴミ等）産業廃棄物（工事に伴う金属類、廃プラスチック類、廃油、紙くず、木くず等）
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める。
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機
その他・顧客要求事項	<ul style="list-style-type: none">・現場の営業中の施工配慮。一週間ごとの分割施工等。・材料の搬入搬出の時間制限・施工中に扱う化学物質の臭気対策。・工期厳守

確認および評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、これまでありませんでした。

主な環境負荷の実績 環境目標・実績

主な環境負荷の実績

項目	単位	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	68,841	67,486	63,293
廃棄物排出量	t	58.03	94.48	130.41
一般廃棄物排出量	t	0.45	0.33	0.38
産業廃棄物排出量	t	57.58	94.15	130.03
水道水使用量	m ³	134	140	163
化学物質(PRTR物質)	kg	1,102	2,431	1,837

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.311kg-CO2/kWh

二酸化炭素総排出量はLPGを含む。

産業廃棄物は混合以外も含む。

環境目標・実績(当初目標)

項目	年度	基準値	2025年			2026年	2027年
		(基準年)	(目標)	(実績)	達成状況	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量 (CO2換算係数0.311kg-CO2/kWh)	kg-CO2	3,710	3,673	3,693	X	3,636	3,599
	基準年比	2024年	99%	99.5%		98%	97%
電力売上(万円)原単位評価	kg-CO2 /万円	0.118	0.117	0.104	○	0.116	0.115
	kg-CO2	3,994	4,034	4,036		4,074	4,114
太陽光発電による売電量(参考)	基準年比	2024年	101%	101%	○	102%	103%
	kg-CO2	63,722	63,085	59,540		62,448	61,810
自動車燃料の二酸化炭素排出量	基準年比	2024年	99%	93%	○	98%	97%
	kg-CO2	67,432	66,758	63,233		66,084	65,409
上記二酸化炭素排出量合計	kg	331	315	384	X	311	308
	基準年比	2024年	95%	116%		94%	93%
一般廃棄物	t	94	93	130	X	92	91
	基準年比	2024年	99%	138%		98%	97%
混合廃棄物	m ³	140	139	163	X	137	136
	基準年比	2024年	99%	116%		98%	97%
水道水	m ³ /百万円	0.44	0.43	0.43	○	0.43	0.42
	kg	2,431	2,431	1,837		2,407	2,382
PRTR物質使用量	基準年比	2024年	100%	75%	○	99%	98%

※LPG は少量のため数値目標を設定しませんが常に省エネに取り組んでいます。

グリーン購入の推進も目標にしています。

企業価値向上に関わる目標も設定しています。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画

②電力による二酸化炭素排出量の削減



太陽光発電と平衡して消費電力量削減

今年度は昨年度に比べ少しは減らすことができました。太陽光の発電量も多かったため消費電力が少なくなったのではないかと考えています。昨年度の目標達成にはいたらなかつたので次年度は頑張りたいです。夏は気温が高いですが、熱中症にならない程度に冷房を付けるよう心がけ、社員にも周知させていきたいと考えています。

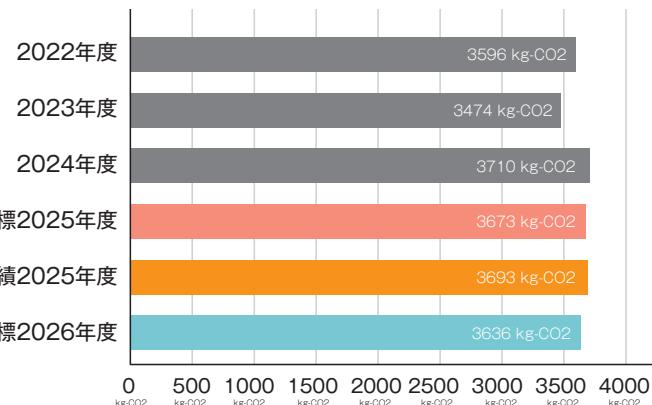
次年度からは

来年度も太陽光発電に頼りすぎず、待機電力やこまめな不要照明の消灯など再度周知していきたいと思います。

今年は昨年よりも消費電力を下げることができましたので来年度からも減らしていくように頑張りたいと思います。また、照明の消灯など再度周知させていきたいと思います。駐車場付近の花壇への植栽も引き続き取り組んで参ります。

(営業部 小山)

消費電力の推移(CO2排出係数 0.311)



数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた ○まあまあできた △あまりできなかつた ×全くできなかつた

数値目標と実績	達成状況
2024年実績3,710kg-CO2⇒2025年実績3,693kg-CO2 目標99%⇒基準年度比99.5%	
取組計画	達成状況
・空調温度の適正化（冷房28°C、暖房20°C）（事務所）	○
・不要照明の消灯（事務所）	○
・駐車場の植栽（事務所）	○

わが社のカーボンニュートラルに向けての取り組み

—自社のカーボンニュートラル実現に向けての目標—

弊社でも2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするという目標を掲げました。太陽光発電を取り付けた2020年を基準とし、2050年までに目標達成できるように周知させていきたいと考えております。2025年度は昨年より少し上がつてしましましたが、2030年の2/3にするという目標を達成できるように頑張ります。

2020年

2030年

2040年

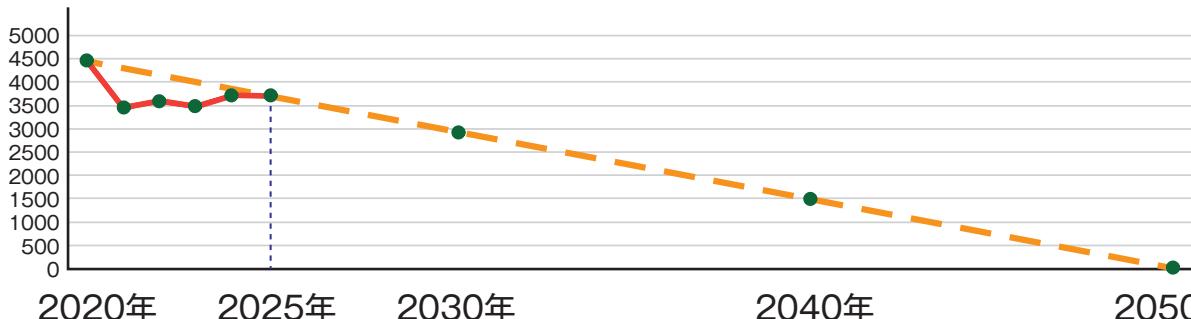
2050年

太陽光発電を取り付けた時期

排出量を2/3にする。

排出量を1/3にする。

排出量を全体としてゼロにする。



— 目標
— 実績

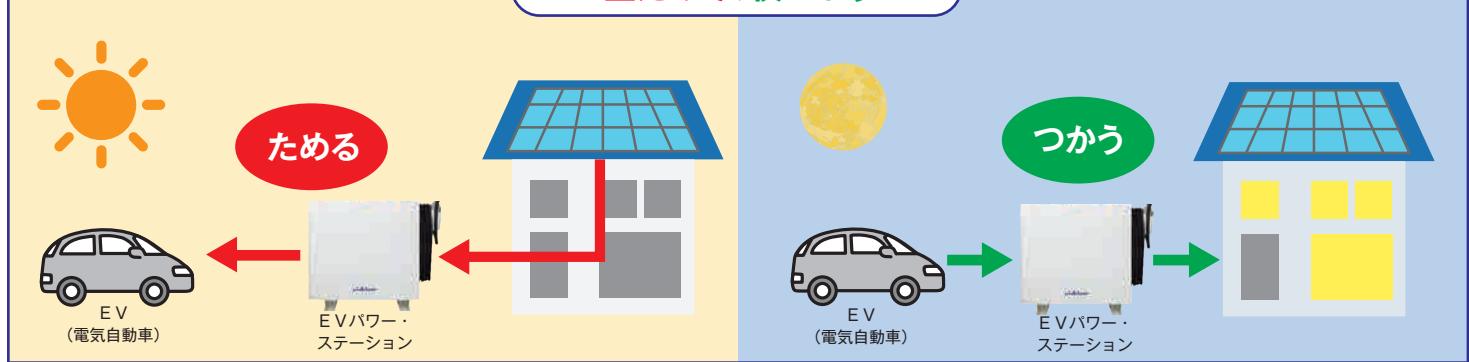
CO2排出ゼロ+BCPを取り入れた電気自動車

日産リーフは走行中のCO2排出ゼロ、ガソリンを全く使わないクリーンな電気自動車です。ガソリン車が排出する排気ガスには、地球温暖化の原因とされている二酸化炭素、光化学スモッグの原因とされている炭化水素や窒素化合物など、さまざまな大気汚染物質が含まれますが、電気自動車は走行中に排気ガスが出ないため空気を汚すことがなく、環境を守ることができます。

太陽光で発電した電気がEVパワー・ステーションを経由してリーフに蓄電しています。太陽光という再生可能エネルギーを使用し電気自動車を充電しているため地球環境に優しいエコな自動車となっています。自動車自体に蓄電することが可能なため停電時でも建物に電気を給電できます。昼間の太陽光で十分に蓄電を行っているため約3日間社内の電気をまかなうことができます。



昼ためて、夜つかう

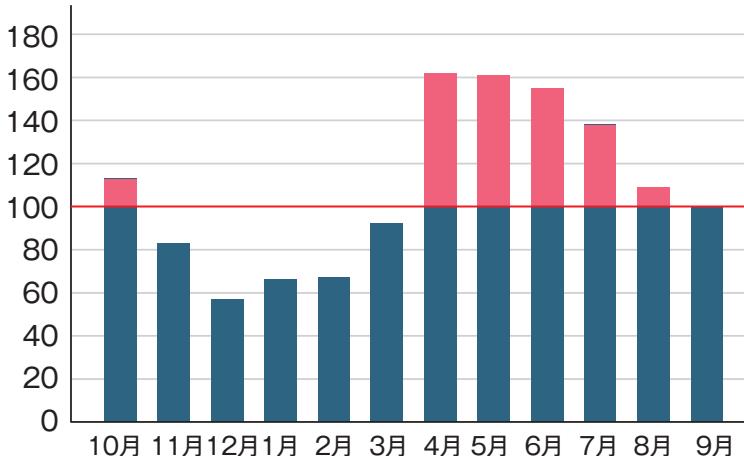


わが社の太陽光発電

社屋の屋根に太陽光パネルが設置しております。太陽光パネルは枯渇することのない太陽光からエネルギーを取り出すため、限りある資源である化石燃料を使うよりも大きく地球に優しいと言えます。太陽光パネルを設置しているだけで地球環境問題に大きく貢献することができます。これから使用電力をより減らし、全ての月で太陽光発電自給率が100%を超えることを目指します。



● 2025年太陽光発電自給率(%)



太陽光発電の自給率のグラフです。今年度は総合的に見ると自給率が上がっています。やはり、日照時間が短く暖房を多く使う冬は自給率が下がっていますが、昨年より自給率が上がっており春から秋にかけても自給率を維持しております。2050年カーボンニュートラルの実現へ向けて力を入れて参ります!

②自動車燃料における二酸化炭素排出量の削減



自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

今年度はガソリンの使用量を大幅に下げる事が出来ました。軽油の使用量は少しだけ上がってしまいました。弊社の二酸化炭素排出量を占めているのは軽油のため、できるだけ下げる様にどれだけ使用しているか数値として見る事が大事だと思い、自動車の走行距離を記入してもらいました。

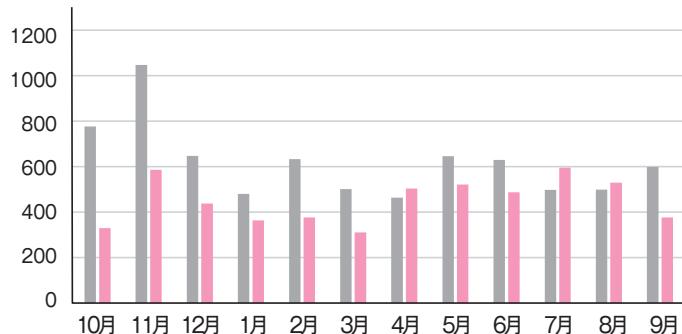
次年度からは

軽油の使用量は工事数に左右されるため工事数が増えると使用量が増えてしまいます。今年度は大規模な工事も多かったため、軽油の使用量が増えてしまったのではないかと考えています。できるだけ忘れ物を無くし、往復しないように心がけていきます。1台に乗れる最大人数が一度に乗り、最小限の台数で移動し、エコドライブを心がけた運転を継続させていきます。

(工事部 田中)

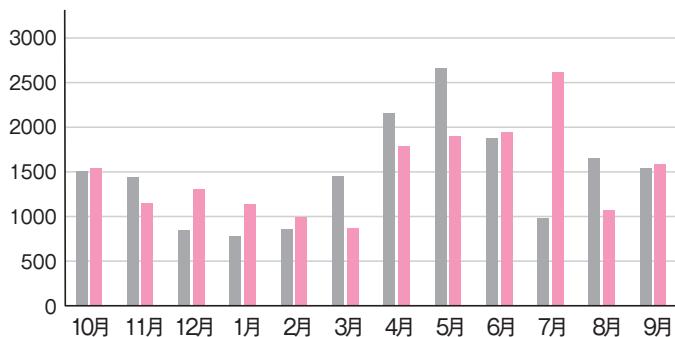
● ガソリン(ℓ)

■: 2024年(基準年度) 合計:7418ℓ ■: 2025年 合計:5416ℓ



● 軽油(ℓ)

■: 2024年(基準年度) 合計:17717ℓ ■: 2025年 合計:17897ℓ



数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
2024年実績63,722kg-CO2 ⇒2025年実績59,540kg-CO2 目標99%⇒基準年度比93%	
取組計画	達成状況
・効率的なルートでの移動(現場)	○
・材料、運搬の最小化(現場)	△
・車両の不備点検(現場)	△
・車の導入時に低燃費車を選択	○
・走行距離データの記録	△

topics

-作業環境の改善-

改修工事の際、まず行うのが既存床の撤去作業です。弊社では新型搭乗式の床面剥がし機を導入しています。これまで剥がすのが困難だった既存床(アスファルト、ウレタン等)、塗床(ウレタン、エポキシ等)をスピーディに剥がすことが可能です。機械効率は小型電動機と比較しても10倍以上の差があり、作業時間の短縮、人件費等の経費削減に大きく役立っています。下地処理がきれいに出来れば工事全体の品質向上に繋がります。大規模な改修工事の現場には欠かせない存在です。



搭乗式貼床材剥がし機『Bronco』

- ・騎乗式小型軽量コンパクト設計
- ・バランスが良く安定した操作性
- ・エレベーター・廊下でも搬入可能
- ・ウエイトが脱着可能
- ・プロパンエンジン式



従来よりもキレイで
スピーディーに!



使用した後はコンパクトに収まります。

トラックにパワーゲートを取り付け、作業員の負担を減らすよう改善しました。自動で昇降するので工事部の肉体的負担を軽減すると共に、作業効率が向上しました。また、今まで複数人で行っていた重量の積み降ろしを1人でも行えるので人員が足りない場合も対応可能です。

③廃棄物排出量の削減

一般廃棄物の削減

一般廃棄物の排出量は昨年に比べ増えてしまいました。ペットボトルの分別は引き続き行っていましたが弁当ごみが増えた事が原因だと考えています。

引き続きペットボトルなどの資源ゴミの分別を正しく行うことを徹底させたいと思います。また、いろいろなものを買わない努力やゴミの出にくいものを選択するなど努力していきたいです。

(営業部 小山)

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
2024年実績331kg ⇒ 2025年実績384kg 目標99% ⇒ 基準年度比116%	
取組計画	達成状況
・分別の徹底(事務所・現場)	○
・廃紙のリサイクル化(事務所・現場)	○
・帳票見直しによる印刷物の削減(事務所)	○
・梱包材の再利用(事務所・現場)	○

機密文書の処分

機密文書はヤマト運輸の専用のリサイクルBOXで完全溶解処理したものを100%再生リサイクルしてもらいます。地域に出す古紙と機密文書はしっかりと分けています！



私たちが分別のために 継続しているコト



- ・つぶせる缶は必ずつぶしてメッシュパレットへ
- ・つぶせない缶にはテープ類や軍手などゴミを入れないようにしよう
- ・廃缶の中に廃缶を入れている場合、帰社後に取り出してメッシュパレットに入れて分別しよう
- ・コンテナ(バッカン)は隙間の無いように詰めて入れよう
- ・未硬化の樹脂は固めてから処分するか、廃液用のドラム缶へ
- ・軍手は持ち帰った後必ず専用の箱に全て入れよう(事務所で選別して洗濯再利用します)

混合廃棄物の削減

昨年に比べ混合廃棄物の排出量が大幅に増えてしまいました。多くの廃棄物が出る防水工事が多かったことが原因だと考えています。混合廃棄物は工事量に左右されるため削減が難しいと感じています。

今年も無料広告掲示板で必要とする方に「木製パレット」をお譲りし、その分の廃棄物は削減することができました。

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

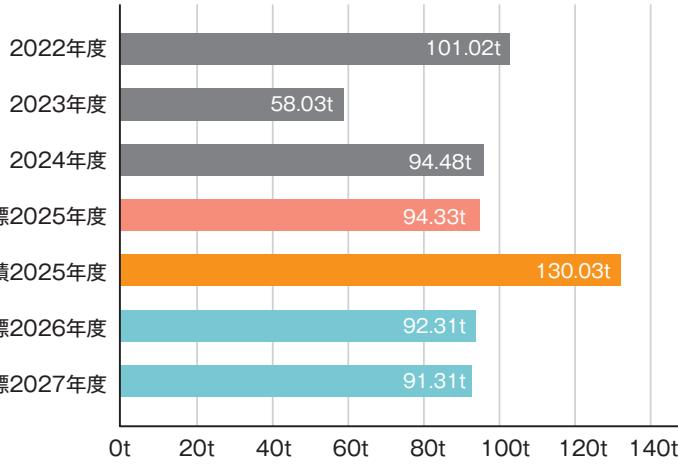
数値目標と実績	達成状況
2024年実績94t ⇒ 2025年実績130t 目標99% ⇒ 基準年度比138%	
取組計画	達成状況
・作業ミスによる廃棄物の削減(現場)	○
・分別状態の確認(事務所・現場)	○
・ゴミの圧縮(事務所・現場)	○

工事廃棄物の処理

現場から持ち帰った既存防水層などの廃棄物は分別した後、残りは廃プラスチックとして処理します。廃材は隙間なく敷き詰めて一度にたくさん引き取ってもらえるようにします！



●廃棄物の推移(一般廃棄物+混合廃棄物)



次年度からは

混合廃棄物は工事数に比例するので来年がどうなるのか読めません。引き続き分別の徹底を継続し、混合廃棄物に入れるべきものなのか判断していきたいと思います。また、廃パレットなど再利用できるものは譲渡を行い、リユースに繋がるよう努めます。ゴミは漬し、可能な限りのゴミの縮小を心がけたいと思います。

(工事部 江口)

④水道水使用量の削減



水道水の使用量が増加

水道水の使用量が前期より、23 m³増加してしまいました。原因を調べたところ、店舗の手洗い場の水が出しあなしになっていた日があったと分かりました。店舗の手洗い場は社員があまり使用しないため、発見が遅くなってしまって水道水の使用量が大幅に増えてしまったと考えられます。

また、新社屋の水道水使用量も昨年度より多くなっていましたため、節水トイレの「大」と「小」を使い分けて使用するなどして使用量の削減に努めたいと思います。

次年度からは

水が出しあなしになつたとしても早期発見できるようにこまめに店舗の手洗い場や水が出るところなどをチェックしていきたいと思います。

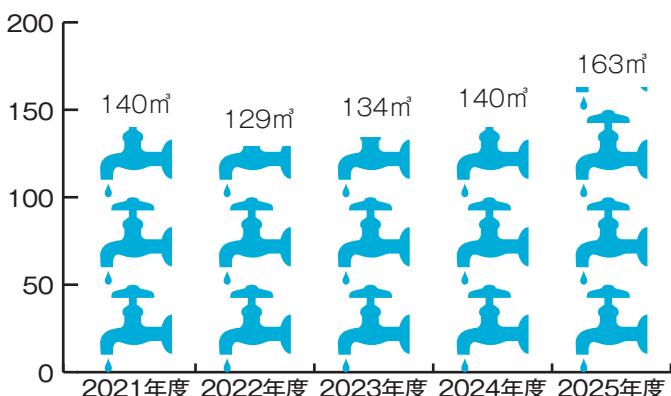
(営業部 前田)

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
2024年実績140m ³ ⇒ 2025年実績163m ³ 目標99% ⇒ 基準年度比116%	
取組計画	達成状況
・軍手・ウエスは纏めて洗濯（事務所）	○
・節水シールの貼り付けとポスター掲示（事務所）	○

水道水使用量の推移



紙ストローへの切り替え

事務所に来られたお客様にお出しする飲み物は紙ストローに変更しています。紙ストローの最大のメリットは、処分の面で環境に優しいところです。また、紙製にすることでプラスチックの使用量抑制にも繋がりました。

微力ではありますが、少しでも環境負荷をなくしたいので、引き続き紙ストローを使用していきたいと思います。



エコキャップ運動はじめました

弊社では、ペットボトルキャップを寄付しています。回収されたペットボトルキャップは再生プラスチック原料として生まれ変わり、その収益をもとに医療支援や障がい者支援、子どもたちの環境教育等、さまざまな社会貢献活動に充てられる予定です。



⑤PRTR物質使用量の削減



PRTR 物質使用量の大幅削減

材料の改良により、工事に使用する樹脂の多くが TX フリー（トルエン・キシレンを含まない）のものに切り替わってきています。今まで多くの防水硬化剤に使用されていた MOCA (3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン) についても、PRTR 制度・第 1 種指定化学物質に該当しますが、弊社が使用する防水材「DP ワンガード・ゼロ」には含まれておりません。防食工事や材料を使用する際、釀剤として、刷毛・ローラーの洗いなどで使用する場合があり、昨年は非常に多くの溶剤を使用していましたが、今期は前期より 594kg 削減することができました。来期も引き続き PRTR 物質使用量の削減に努めていきたいと思います。

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2024年実績2,431kg ⇒ 2025年実績1,837kg 目標100% ⇒ 基準年度比76%	
取 組 計 画	達成状況
・有害性物質の表示の徹底・周知（事務所・現場）	○
・代替物質の検討（現場）	○
・作業ミスによる使用量増加の抑制（現場）	○
・容器の蓋の徹底（事務所）	○

次年度からは

化学物質の使用は少なくなりましたが、一部の防食工事や塗装工事では、どうしても使用しなければいけない場合もあります。そのため、各材料に含まれている化学物質に対して理解を深め、有害なものがある場合は全作業者に周知し、安全な作業環境を心掛けたいと思います。また、今後もマスクや手袋などの使用を徹底していきたいと思います。

(工事部 田中)

リスクアセスメント実施中！

2016 年 6 月に労働安全衛生法が改正され、化学物質のリスクアセスメントが義務化されました。弊社では倉庫に現在保管されている材料の SDS を入手し、さらには材料ラベルに表示されている危険有害性情報、救急措置、取扱い上の注意、保管方法などを新人教育の一環として、まとめてもらい、社内で周知しました。これらのまとめた情報をを利用して、今後作業手順を変更する際や、リスクアセスメントを実施して安全施工に努めています。

SDS とは？

SDS とは、「安全データシート」の Safety Data Sheet の頭文字をとったもので、事業者が化学物質及び化学物質を含んだ製品を他の事業者に譲渡・提供する際に交付する化学物質の危険有害性情報を記載した文書のことです。SDS では、化学製品中に含まれる化学物質の名称や物理化学的性質のほか、危険性、有害性、ばく露した際の応急措置、取扱方法、保管方法、廃棄方法などの有害性のおそれがある物質が記載されます。

SDGs の見える化 17 の目標全てに取り組んでいます！



SDGs に関連付けた名札を事務所の
いたるところに掲示しています！



⑥グリーン購入・グリーン調達



当社は環境経営方針7「グリーン購入やグリーン調達に努力します」と掲げているように、物品調達や工事資材の購入において、環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に選択し、調達しています。また、環境ラベル認証（エコマーク、グリーン購入法適合製品など）を確認し、再生材料やリサイクル品を利用するようにしています。

また、2020年に電気自動車リーフを採用し、営業車として活躍中です。

今後も、グリーン購入の取り組みを全社的に推進するとともに、取引先やお客様とも連携しながら、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかつた ×全くできなかつた

取組計画	達成状況
・有害性の少ない資材の購入	○
・省エネ性能の高い電気製品の購入（事務所）	○
・燃費のよい自動車の採用（事務所・現場）	○
・事務用品グリーン購入比率向上（事務所）	○

エコマーク認定商品



クリスタルストーン・サンド（ミックスグリーン）

廃ガラスを再商品化したエコマーク認定商品です。廃ガラスやあきびんなどを独自の破碎プラントで粒状に加工したもので、弊社は防水工事・塗床工事の骨材として使用しています。

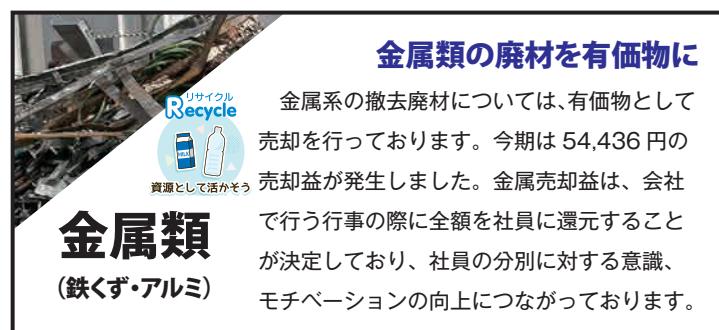
⑦廃棄物の分別方法



金属類の廃材を有価物に

金属系の撤去廃材については、有価物として売却を行っております。今期は54,436円の売却益が発生しました。金属売却益は、会社で行う行事の際に全額を社員に還元することが決定しており、社員の分別に対する意識、モチベーションの向上につながっております。

金属類
(鉄くず・アルミ)



**古紙
ダンボール**

紐でまとめて倉庫保管。
月1回、地域の子ども会へ
リサイクル活動協力。



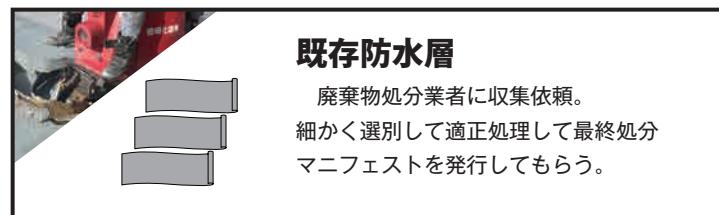
**缶・ビン
ペットボトル**

ラベルを剥がし
茨木市の規定に沿った
分別で資源ごみへ



**材料
一斗缶**

空缶が確認して折り畳む。
リサイクルが可能な缶は
リサイクル業者へ



既存防水層

廃棄物処分業者に収集依頼。
細かく選別して適正処理して最終処分
マニフェストを発行してもらう。



洗って再利用！軍手リサイクルでごみ削減

現場で使用する軍手は洗濯・再利用しています。樹脂材料を取り扱うため、以前はベッタリと付着した軍手を使い捨てにすることが多くありました。しかし、仕分けを丁寧に行うことで、洗濯すれば再使用できるものが多いことが分かり、現在は事務所で洗濯を行い、半分以上を再利用しています。

次に使う人が気持ちよく使用できるように整えることで、リユースだけでなく、リデュース（廃棄物発生の抑制）にもつながっています。



「廃棄ゼロ」へつなぐ仕組みづくり

木製廃パレットはこれまで処分方法に悩んでいましたが、環境経営レポートの発行をきっかけに、パレットを必要とする業者様との新たなつながりが生まれました。そのご縁により、今期発生した廃パレットはすべて引き取っていただくことができ、物流・運送の現場で再利用されています。

廃棄物として処分するのではなく、資源として活かす循環が生まれたことで、環境負荷の軽減にもつながっています。

リサイクル困難物の適正処理を徹底

既存防水層や砂、くず類などのリサイクルが困難な産業廃棄物については、専門の廃棄物処分業者に収集を依頼しています。収集後は業者により細かく選別・適正処理が行われ、最終処分に関するマニフェスト（産業廃棄物管理票）を発行してもらい、処理の完了を確認しています。

今後も法令を遵守した適正な廃棄物管理を徹底し、環境負荷の低減に努めてまいります。

3R と 5S 活動

工事現場や倉庫で発生する主な廃棄物は、「3R（リデュース・リユース・リサイクル）」の考え方に基づき、細かな分別を徹底しています。

金属くずやアルミなどの金属類は有価物として売却し、材料一斗缶は空缶を確認・折り畳んでリサイクル業者へ、古紙・ダンボールは毎月地域の子ども会のリサイクル活動に協力しています。

また、「5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）」活動も欠かせません。工事現場では道具や材料を整理整頓し、倉庫や置き場では通路のはみ出しを禁止するなど、安全で効率的な作業環境を維持しています。

事務所では毎週金曜日に全社員で清掃を行い、チームワークと清潔な環境を保っています。さらに近年は、データ管理における「情報 5S」にも力を入れています。不要データの削除やフォルダ体系のルール化、ファイル名の統一、バックアップ体制などを整えることで、情報の迷子を防ぎます。業務の効率化と紙資料の削減の両方に効果がありました。

これらの取り組みを通じて、廃棄物の削減と資源循環を推進し、環境負荷の低減に努めています。



清掃中です

所属業界団体への協力



マッスルフロア工業会「2024年度（第14期）技術検討会」

当社が所属するマッスルフロア工業会では、最新の材料や工法に関する知識・技術を共有することを目的に、毎年「技術検討会」を開催しています。2025年4月25日に実施された大阪会場では、当社事務所を会場として提供し、材料メーカー・施工業者・関係者が一堂に会する場を支援しました。

技術検討会では、新製品および改良製品の紹介、各種プライマー・下地調整材の説明、化学物質のリスクアセスメントに関する座学のほか、実際に材料を塗布する実地研修など、参加者が実践的な知識・技術を深める機会となりました。

当社は今後も自社施設を活用し、技術研鑽の場を提供することで、環境負荷の少ない材料や施工技術の普及、業界全体の安全性向上に貢献していきたいと考えております。



実地研修（弊社倉庫2階）

NK フレーク工法研究会「第2回 NK フレーク工法専門技術者講習会」

5月10日、当社所属のNK フレーク工法研究会が主催する「第2回 NK フレーク工法専門技術者講習会」が開催されました。本講習会では、NK フレーク工法研究会の会員企業から21名が集まり、施工実習や施工上の注意点などの講義が行われ、質疑応答の場では活発な意見交換がなされました。講習会の最後には理解度確認の試験が実施され、合格者には「NK フレーク工法専門技術者認定証」が授与されました。

当社は同研究会の一員として、弊社事務所を会場として提供し、技術者育成の場を支えました。運営自体は事務局が中心となつて行われましたが、当社も設備面で協力することで、より円滑な実施に貢献いたしました。今後も環境負荷の少ない工法・材料の普及と技術者育成を支援し、業界全体のレベルアップと持続可能な社会づくりに寄与してまいります。



講義中（弊社会議室）



実習中（弊社倉庫2階）



試験中

⑧環境に配慮した工事の推進

地球環境を考え、人に優しい防水工法・建物に優しい防水工法・地球に優しい防水工法の施工・開発に取り組んでいます。

取組計画	達成状況
・環境への負荷を軽減した工事（現場）	○
・材料を入れる18L缶はリサイクル缶を使用（現場）	○
・屋根の塗装、屋上防水トップは遮熱塗料を薦める（現場）	○
・水性材料の採用（現場）	○

新環境対応型 1 液型ウレタン塗膜防水材 DP ワンガード・ゼロの使用量

今期の DP ワンガード・ゼロの材料使用量を集計したところ、合計で 44,406kg (2,467 缶) でした。弊社で使用しているウレタン防水材はほとんど環境対応型防水材「DP ワンガード・ゼロ」を採用しているため、来期も屋上駐車場の防水改修工事をたくさん受注し、使用量の向上に努めていければと思います。

DP ワンガード・ゼロとは？

弊社が現在防水工事で一番多く扱っているウレタン防水材です。ウレタン防水材といいますと、以前は“主剤”と“硬化剤”が別々の缶に入れられたものを混合させて使用する 2 液型が一般的でしたが、新環境対応型 1 液型ウレタン塗膜防水材「ワンガード・ゼロ」（シーカ・ジャパン株式会社）は 1 缶のみで材料攪拌の必要がありません。攪拌機の電力削減と労力の削減、さらには空き缶の排出量削減（リデュース）につながっております。

材料がはがせるラミネート缶

1 液型ウレタン防水材が入れられている缶は、内部に特殊なコーティングがなされているラミネート缶です。缶内部で硬化したウレタン防水材は缶表面に強固に付着することなく、綺麗に剥がし取ることが可能となっております。これにより、これまで潰してリサイクル処理していた缶も、現場でリユース（再利用）して洗い缶、練り缶などとして役立てています。

～ワンガード・ゼロ 環境配慮事項～

- TX フリー。有機溶剤「トルエン」「キシレン」等を使用していません。
- 「シックハウス症候群」を引き起こす原因とされる 14 の有害物質を使用していません。
- ホルムアルデヒド放散等級「F☆☆☆☆」を取得しています。
- 特定化学物質を含んでいません。容器廃材の低減（リデュース）

地球に優しい施工をします！



＼ DP ワンガード・ゼロ以外にもリサイクル製品の骨材を使用した施工を行っています！ /

リサイクル製品骨材 エコスター（電気炉酸化水冷スラグ）とは？

電気炉製鋼所から得られる副産物の酸化スラグを特殊処理加工したリサイクル素材です。こちらは、スラグ 1,500°C 前後の溶解状態から加工・破碎分級し、天然骨材にない種々の特徴を持つセラミック骨材（粗・細骨材）となっています。色調は艶のある黒色で角ばっていて、粘土、有機不純物、塩分などは含まれておらず、耐酸、耐アルカリ性などの特性もあります。



エコスター(電気炉酸化水冷スラグ)

リサイクル製品骨材 クリスタルストーン・サンドとは？

廃棄物として処分せざるを得なかった廃ガラスやあきびんなどを破碎エッジレス加工したリサイクル素材です。ガラスびんを粉碎してからエッジレス加工を行っているため、素手で握っても痛くないので安心です。

エコマーク認定

公益財団法人日本環境協会の認定を受けている商品を使用しています。



クリスタル・ストーンサンド

9環境施工事例の紹介



駐車場・ビル屋上・マンションベランダ・屋根・戸建住宅など

防水箇所の用途・状態・仕様に合わせて、最適な施工方法をご提案いたします。

リサイクル製品の骨材を使用した施工

施工事例はコチラ ▶



弊社では、リサイクル製品の骨材（エコスター（電気炉酸化水冷スラグ）、クリスタルストーン・サンド）を使用した施工を行っております。

下記では、エコスターを使用した工事を紹介いたします！

スーパーマーケット屋上駐車場防水改修工事

ウレタン+FRP複合防水工法で施工いたしました！

約 6,600 m²と施工面積が大きく、3ヶ月にわたる工事となりましたが、無事に完工することができました！

弊社が 20 年前に施工した駐車場を改修しました！



Before



After



全体完成写真



既存防水層撤去



ウレタン防水材塗布



防滑骨材(エコスター)散布



トップコート塗布

TX フリーで作業環境が改善

特定化学物質はもちろん、有害物質や臭気の発生しない新環境対応型ウレタン「DPワンガード・ゼロ」を使用しております。工事の際に作業者や近隣の方がめまい・頭痛等を引き起こすといった心配もなくなりました。居住環境、作業環境、地球環境と全ての環境にやさしい防水材でこれからも環境施工に努めます。

納骨堂緑化防水工事

新設コンクリート面の上からウレタン+FRP複合防水工法（屋上緑化仕様）で施工しました！



Before



After



イメージ図

古墳型の納骨堂で完成時には芝生が植えられます！



⑨環境施工事例の紹介



地球環境に配慮した塗床工事ならお任せください!機能性と意匠性を兼ね備えた、最適な工法をご提案いたします。

一般床をはじめ、耐荷重を要求される倉庫、工場床や駐車場、耐熱水性を要求される厨房床や食品工場、耐薬品性を要求される研究室や化学工場まで、さまざまな用途や要求に対応します。

廃棄物とコストの削減

かつてのスクラップ&ビルトの考えではなく、既存建物をメンテナンスしながら永続的に使い続ける「建物の長寿命化」に貢献します。廃棄物とコストの削減に繋がり、サステイナビリティに繋がります。

快適な職場環境へ改善

塗床改修で労働災害やヒヤリハットの事象は減らせます。水・油によるスリップ防止に優れた防滑仕上げや薬品に強い耐薬品床など、工場の用途に合わせ、職場の改善をお手伝いいたします。快適な床に生まれ変われば業務効率アップと従業員のモチベーション向上は間違い無しです!

床の環境改善

施工事例はコチラ ➤



微細精密加工工場 検査室 塗床工事



Before



After

硬質ウレタン系塗床の特徴

- 光沢があるのでとってもきれい
- サッと水を流すだけで掃除が終わるので時間短縮に繋がりました
- 薬品に強いので薬品工場や研究室に最適
- 荷重に耐え得ることができるため台車やフォークリフトで通っても安心です



光沢のある美しい床に生まれ変わり、清潔感・耐久性ともにアップしました◎



下地処理 表層研磨



プライマー塗布



下地補修
エポキシ樹脂バテ シゴキ



下塗り
硬質ウレタン塗布

気になるこんな箇所も対応できます!



冷蔵庫・冷凍庫の床



側溝のコンクリートの腐食



既存タイル撤去



食品を扱う工場や厨房において、製品の安全を確保する衛生管理の手法として HACCP が 2021 年 6 月に完全義務化となりました。これに伴い、弊社でも塗り床材も安全性・衛生性・耐久性の高い HACCP 対応のものを採用しております。

スーパーマーケット 鮮魚作業室 塗床工事



Before



After

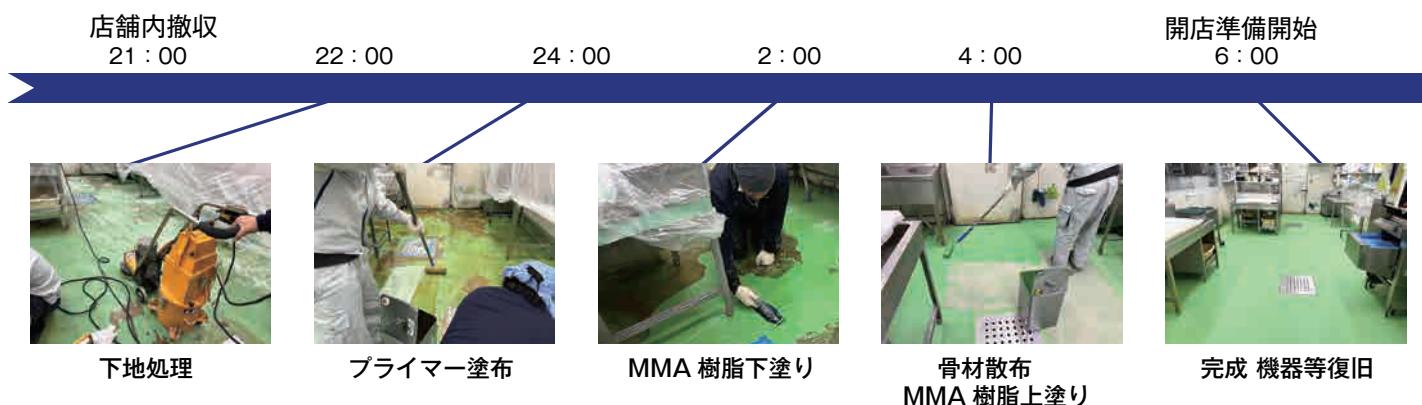
低臭性 MMA 樹脂塗床の特徴

- 作業開始から 8 時間程度で開放可能 (5°C以上の場合)
- 食品工場、厨房、低温倉庫、熱水洗浄を行う床に最適
- 耐熱 80°Cまで対応可
- 施工時における樹脂の臭いがほとんど気になりません



閉店後の夜間工事のタイムスケジュール

\ 作業開始から 8 時間 で歩行可能 !! /



こんな工事もできます！

キッチンリフォーム工事



弊社では塗床工事だけでなく、リフォーム工事も施工可能です！

今回は、LIXIL の最上級グレードシステムキッチン「RICHELLE（リシェル）」を採用しました。こちらは収納力バツグンで、調理器具や食材もすっきり整理できることが特徴です。

また、ワークトップは耐久性とお手入れのしやすさを兼ね備えたセラミック素材を使用しました。その他にもキッチン収納の取付やテレビの壁掛け工事もあわせて施工し、暮らしやすさ・使いやすさを重視したリフォームになりました！



Before



After



防食工事とは？

コンクリートや金属を腐食から守り、蝕みを防ぐ工事です。強い酸性の液体を使うメッキ工場のピット、化学工場のタンクや床、廃液槽、食品工場や下水処理施設の曝気槽など特殊合成樹脂仕様による耐酸・耐食工事の設計責任施工をいたしております。硫酸や硝酸、フッ化水素酸などの強酸に対応した重防食層の施工や、日本下水道事業団仕様の防食塗装も施工可能です。

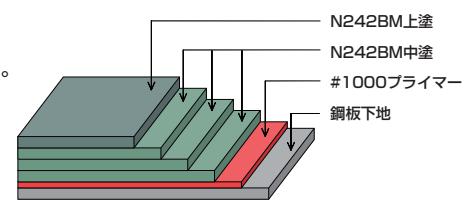
鋼板製消化槽 防食ライニング工事のご紹介

鋼板製消化槽 防食ライニング工事 塗布型ライニング工法（下水道事業団 D種適合）は、下水道処理施設の嫌気性消化設備における鋼板製消化タンク、及び都市型バイオガス発電所における鋼板製発酵タンク等の内面防食に特化した防食仕様です。

ポイント1

ブラストと防食塗装の一貫施工できるため、手待ち時間・ロス時間が少なく工期が早いです。

施工断面図



ポイント2

ガラスフレーク入りビニルエスチル樹脂をスプレー塗布いたします。高品質かつ短工期での施工が可能となりました。



スチールグリッドを使用したブラスト



NK フレーク N242BM 中塗
底板吹付塗布



NK フレーク N242BM 中塗
天板吹付塗布



NK フレーク #1000
プライマー塗布

施工実績

状況	竣工/予定	工事名	面積
完工	2022年8月	熊本市中部浄化センター	1,333m ²
完工	2022年10月	佐賀市下水浄化センター	1,234m ²
完工	2023年11月	神戸市(株)コベック食品廃棄物メタン発酵槽	323m ²
完工	2024年4月	久留米市中央浄化センター浄化タンク	1,254m ²
完工	2024年9月	福知山市終末処理場鋼板製消化槽	1,366m ²
完工	2025年5月	尼崎市下水汚泥広域処理場鋼板製消化槽（1期）	5,055m ²
受注済	2026年1月予定	琵琶湖湖南中部浄化センター消化槽	2,948m ²
受注済	2026年4月予定	仙台市南蒲生浄化センター鋼板製消化槽	3,526m ²
受注済	2026年5月予定	尼崎市下水汚泥広域処理場鋼板製消化槽（2期）	5,055m ²

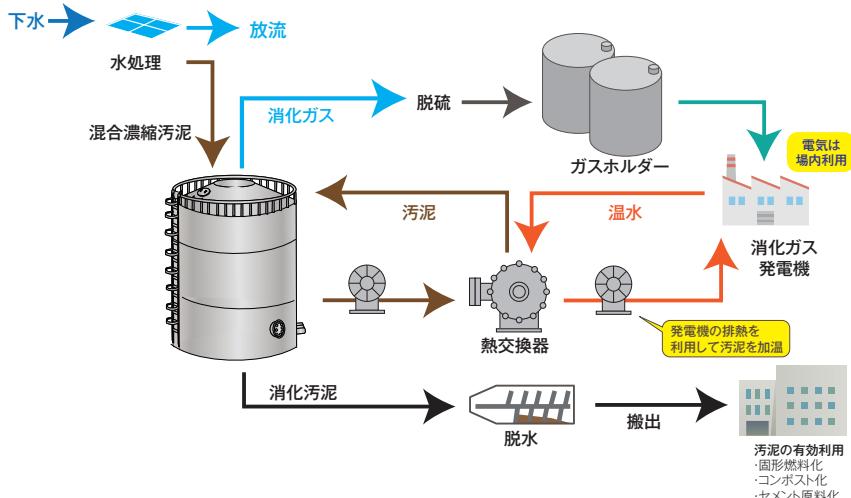


鋼板製タンク内面防食工事の施工実績は5件になりました。初めは九州地方の施工が多かったですが、関西での施工も増えてきました。2024年11月には尼崎市下水汚泥広域処理場鋼板製消化槽の防食工事を行いました。日本最大規模の消化槽のため、たいへん大きな工事でしたが、無事に完工することができました。

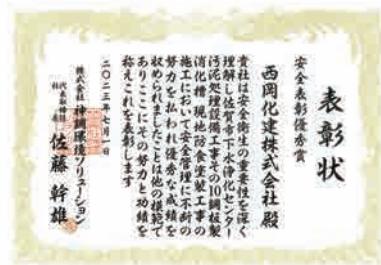
下水処理場向け鋼板製消化槽はたらきについて

消化槽は下水処理時に出た汚泥の減量と安全性を高めることを目的とした設備です。分解が終わり安定した汚泥は消化工程前には50～60%程度に減量されており、脱水・焼却しやすい性質に変質しています。また、汚泥は肥料や土壤改良材として利用が可能となります。消化槽は、汚泥処理の効率化と環境負荷の低減に重要な役割を果たしています。

フロー図



Topics

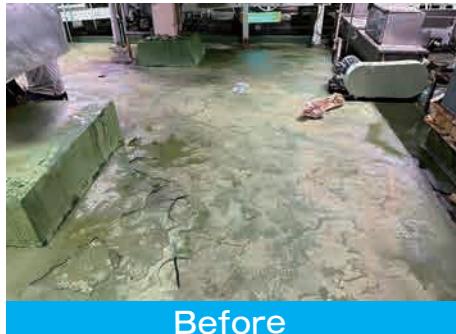
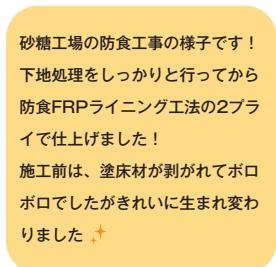


2023年に株式会社神鋼環境ソリューションより佐賀市下水浄化センター鋼板製消化槽防食塗装工事において安全表彰「優秀賞」をいただきました!!

過去の施工事例

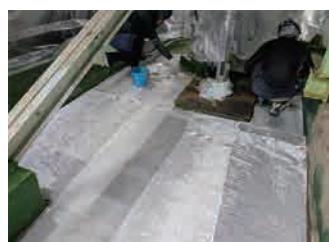
弊社では、防食塗床・防食塗装等、施工現場を調査の上、責任設計施工いたします。強酸性・強アルカリ性の腐食性物質、劇物や危険物を取り扱う建物の重防食工事も多数施工しております。

下記では、FRP ライニング工事の施工事例を紹介いたします！



下地処理 既存塗床撤去

プライマー塗布



MMA樹脂ペースト 塗布

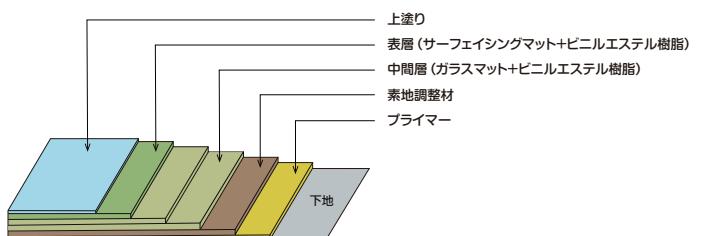
ロービングクロス貼付

EBPライニングとは？

鋼製タンクやコンクリート構造物にガラス繊維と樹脂で積層する工法です。

※薬液の種類によっては、炭素繊維や有機繊維を使用することもあります。

＜施工断面図＞



⑩社会貢献

「子ども 110 番」で子どもたちの安全なまちづくりへ



茨木市における「子ども 110 番の家」活動に、当社は協力企業として参加しています。事務所入口にステッカーを掲示し、子どもたちが危険や不安を感じた際に、安心して駆け込める安全な場所を提供しています。

この取り組みは、子どもたちを犯罪やトラブルから守るだけでなく、地域全体の安心感を高めることにもつながっています。行政・地域住民・学校・企業が連携して進める「子ども 110 番」は、地域みんなで子どもたちを見守る仕組みとして根づいています。

今後も、地域とともに安心・安全な社会を築く企業市民として、この活動を継続してまいります。



地域イベントや資源回収への協力



古紙やダンボールの分別を行い、毎月地域の子ども会に協力しています。さらに、近隣の小学校が開催する「ふるさと祭り」に協賛寄付を行うなど、地域の教育・文化活動の支援にも取り組んでいます。

今後も、資源ごみの回収や清掃活動など、地域に根差した取り組みを継続し、子どもたちと地域住民が安心して暮らせるまちづくりに貢献してまいります。

月1回、地域の子ども会用に古紙をまとめています



ドライバーや地域の方にやさしい バリアフリートイレの提供



ちょっとしたことではありますが、地域に根ざした企業活動の一環として、荷物を配達してくださるドライバーの方々や近隣住民の皆さんに、事務所のトイレを開放しています。長時間の運転や立ち仕事に従事するドライバーにとって、安心して利用できるトイレ環境は健康面・衛生面の両面で重要です。

また、店舗のトイレはバリアフリーに配慮しており、段差がないため車いすでもスムーズに利用できます。さらに、トイレ内は方向転換しやすいよう広く設計されており、どなたにとっても快適に使用できる空間となっています。

当社では、地域のインフラを支える方々を陰ながらサポートできればと考えています。今後も、地域社会に開かれた企業として、こうした小さな思いやりを積み重ねてまいります。



どなたでもご自由にお使いください

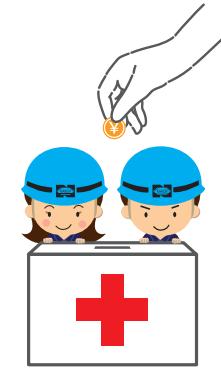
日本赤十字社への寄付を継続し いのちを守る活動を支援



創業時から 50 年間にわたり、日本赤十字社への寄付を毎年続けています。当社にとって欠かすことのできない大切な社会貢献活動の一つです。

日本赤十字社は、災害時の被災者救護や感染症対策、防災・減災の啓発、ボランティアの育成など、多岐にわたる活動を通じて人々のいのちと暮らしを守り続けています。近年は地震や豪雨災害の頻発、さらには国際的な人道危機への対応が求められており、こうした活動の重要性はますます高まっています。

私たちも寄付を通じて、緊急時の救援や復興支援、そして誰もが安心して暮らせる社会づくりを支えてまいります。

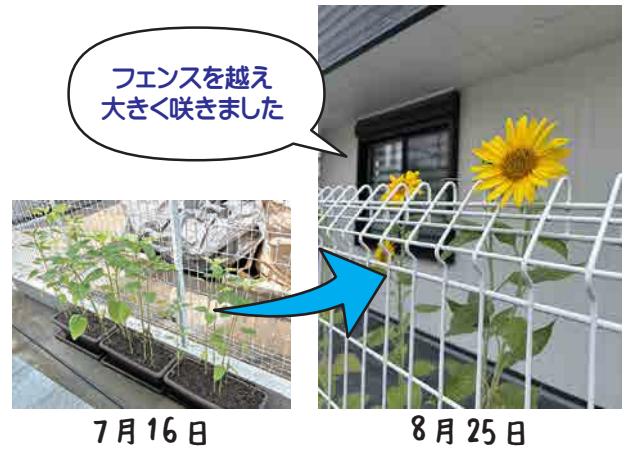


はるかのひまわり絆プロジェクト

昨年から「はるかのひまわり絆プロジェクト」に参加し、震災の記憶と命の尊さを未来へつなぐ活動を続けています。

今年も、事務所入口周辺のプランターに植えたひまわりが見事に咲き誇り、社員や訪れる方々に元気を届けてくれました。

このひまわりの種は、阪神・淡路大震災で被災した方の想いとともに全国へ広がり、災害の備えや命の尊さを考えるきっかけを与えてくれます。私たちもこの想いをつなぎ続けるため、これからも毎年花を咲かせ、次の誰かへと種を引き継いでいきたいと考えています。



⑪ 営業力強化を行いインフラの長寿命化の促進 展示会への出展

今期もさまざまな展示会に出展しています。展示会は、弊社の施工実績や環境配慮型の施工を直接アピールできる貴重な場であり、来場者との交流を通じて新規顧客や商談へつなげる機会となっています。今年配布の三つ折りパンフレットは創業50周年を記念して表紙も一新させました。弊社の「環境経営レポート」も会場で配布し、環境への取り組みを広く知っていただくなきつかけとしています。

2025年は5回の出展を予定しており、来年も随時出展を予定しています。今後もこうした活動を継続してまいります。お時間が合う方は、ぜひ弊社ブースへお立ち寄りください。

開催日	展示会名	開催場所
6月10日(火)11日(水)	第13回 大阪府内信用金庫合同ビジネスマッチングフェア2025	マイドームおおさか
7月9日(水)	第6回 大阪わかそう2025	大阪市中央公会堂
10月8日(水)9日(木)	中信ビジネスフェア2025	京都パルスプラザ
11月5日(水)6日(木)	第27回 きたしんビジネスマッチングフェア2025	マイドームおおさか
12月3日(水)4日(木)	大阪勵業展2025	マイドームおおさか

環境上の緊急事態への準備及び対応

緊急事態対応訓練の実施

緊急事態に対応できるよう、いざという時に備えた体制づくりを進めています。本年は以下の内容で防災訓練を実施しました。

実施日： 2025年9月1日（月）16時00分～

場 所： 事務所敷地内

訓練内容 LINE WORKS を活用した安否確認訓練

バックン付近で火災が発生した想定での避難訓練



10年間ありがとうございました！



新しい消火器です！
期限切れ消火器は交換の際に
リサイクル処分してもらいます！

社内の連絡ツールであるLINE WORKSの安否確認アンケートを活用し、スマートフォンからの安否報告訓練を行いました。続いて「火事です！安全な場所へ避難してください！」との指示に従い、全員が速やかに避難を完了しました。災害はいつ発生するかわかりません。こうした訓練を繰り返すことで、緊急時に社員一人ひとりが自然に行動できる体制を整えています。

また、今年は使用期限切れの消火器9本を新たに入れ替え、設置場所についても社内で共有しました。来年は5本入替え予定です。今後も防災訓練と設備点検を継続し、社員の安全確保と地域の安心につながる企業活動を推進してまいります。



活動：○よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取 組 計 画	達成状況
・技術の継承(会長)	○
・展示会の参加、企業PRによる顧客獲得	○
・事業拡大のための資金調達、人材確保	×
・スキルアップ、資格の取得	○
・食品工場HACCP義務化対応における社内教育	—
・SNS、HPの活用	○

三つ折りパンフレット(50周年ver.)
にハッピーターンをお配りしたら
大好評でした！

展示会の様子



健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門）に認定されました！

経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門）」に認定されました。今回の認定を励みとし、引き続き社員の健康増進に努めてまいります！

※健康経営優良法人認定制度とは、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度です。



血圧計・体重計の導入と分煙の取組み

会社の健康診断は年に一度ありますが、それだけでは健康の維持は難しいため、事務所に血圧計と体重計を設置しています。

また、社員の健康維持のため、分煙環境の整備も整えています。非喫煙者がたばこの煙を吸い込む「受動喫煙」を防ぐために事務所横に喫煙室を設置しています。喫煙者も非喫煙者も快適な職場環境づくりを目指しこれからも取り組みます。

猛暑から従業員を守る熱中症対策

2025年の夏は、日本全国でかつてない猛暑が続いている。7月には国内200地点以上で35°C以上の「猛暑日」が観測され、兵庫・丹波では41.2°C、大阪・枚方市でも39.2°Cを記録しました。気象庁も「災害級の暑さ」と繰り返し警戒を呼びかけています。当社の工事は屋上など炎天下での作業が多く、屋内でも空調のない現場がほとんどのため、熱中症のリスクが常に存在します。

そこで、全従業員が安全に作業できるよう、組織的な対策を徹底しています。

今年度は特に厳しい暑さに対応するため、毎朝凍らせたスポーツドリンクを全員に配布し、空調服を全員分支給するなど、現場での体調管理と安全確保に努めています。今後も、従業員一人ひとりの健康と安全を守る取り組みを継続してまいります。

熱中症対策	現場 での対策	事務所 での対策
A yellow dog wearing a blue hard hat and holding a water bottle with a checkmark.	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> クーラーボックスで冷やした水を準備<input checked="" type="checkbox"/> 塩分タブレット補給<input checked="" type="checkbox"/> こまめな休憩と声かけ<input checked="" type="checkbox"/> ネックガードの装着(ヘルメット取付用)<input checked="" type="checkbox"/> メンシュ製ベストの着用<input checked="" type="checkbox"/> 毎朝凍らせたスポーツドリンクを配布<input checked="" type="checkbox"/> 梅ジュース、梅干しを配布	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 朝礼で全員の体調を確認<input checked="" type="checkbox"/> 室温をこまめに確認<input checked="" type="checkbox"/> こまめな休憩と声かけ<input checked="" type="checkbox"/> 塩分タブレット補給<input checked="" type="checkbox"/> 梅ジュース、梅干しを配布



会長と専務が作ってくれた梅ジュースを社員で 分けて厳しい夏の暑さを乗り切り乗り切りました！



梅ジュースに使用した梅は梅干しに 作り変えて梅を再利用しています。



仕事と家庭を両立できる職場づくりの推進

ライフステージに応じた柔軟な働き方を支援するため、産前産後休暇・育児休暇制度や時短勤務制度の整備を進めています。2021年に初めて社員が産前産後休暇・育児休暇を取得して以来、継続的に制度が活用されており、2025年には同社員が時短勤務制度を利用して職場復帰を果たしました。

このように、制度が実際に運用され、初回利用から継続的に活用されていることで、育児や介護と仕事の両立が現実的に可能となる環境が整いつつあります。今後は男性社員を含め、誰もが利用しやすい職場づくりをさらに進めています。そのために、作業の標準化や業務ルールの明確化を進め、個人に負荷がかかりすぎないワークシェアリングの定着を図ります。年齢や性別に関わらず、全従業員が安心して長く働く職場を目指し、取り組みを継続してまいります。

外国人技能実習生

弊社は外国人技能実習生の受け入れ企業として2007年から継続して取り組んでいます。これまで受け入れてきた技能実習生は累計25名にも上ります。現在雇用しているのは中国人4名、ベトナム人2名です。今年はベトナム人3名が建築塗装作業随時3級を受け、無事全員合格しました。昨年は中国人4名が建築塗装作業随時2級を受け、全員合格しました。言語の壁や日本の文化に慣れないこともあると思いますが、意欲的に現場で活躍してくれているため、弊社としてもとても嬉しく思っております。



建築塗装作業随時3級の様子



送別会の様子



技能実習生として3年の契約を満了したフィンさんの送別会を行いました！！



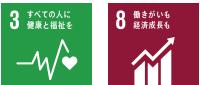
よりよい職場環境を目指して

資格取得推奨制度で社員をサポート

弊社では、社員が資格取得にチャレンジしやすいよう、手厚くサポートしています。試験に関わるテキスト代、受験料、交通費等は全額会社が負担し、資格取得による業務への貢献度や難易度を考慮し、合格時には報奨金を支給しています。さらに毎月資格手当として給与にも付与しています。資格保有者の存在や資格取得を目指す向上心とモチベーションを持った社員は財産であるため、今後も向上心を持った社員を応援していきます。



社員満足度の高い職場へ



弊社では、福利厚生の一環として、そうめんを配布しています。半田そうめんは、普通のそうめんより太く、うどんより細い麺で、大阪ではあまり食べる機会がないため、社員のみんなからとても人気です。

また、くじ引きなどのちょっとした社内イベントを企画し、社員の働くモチベーションを向上させる努力もしております。



生物多様性の保全活動

無農薬栽培を活用した健康経営の推進

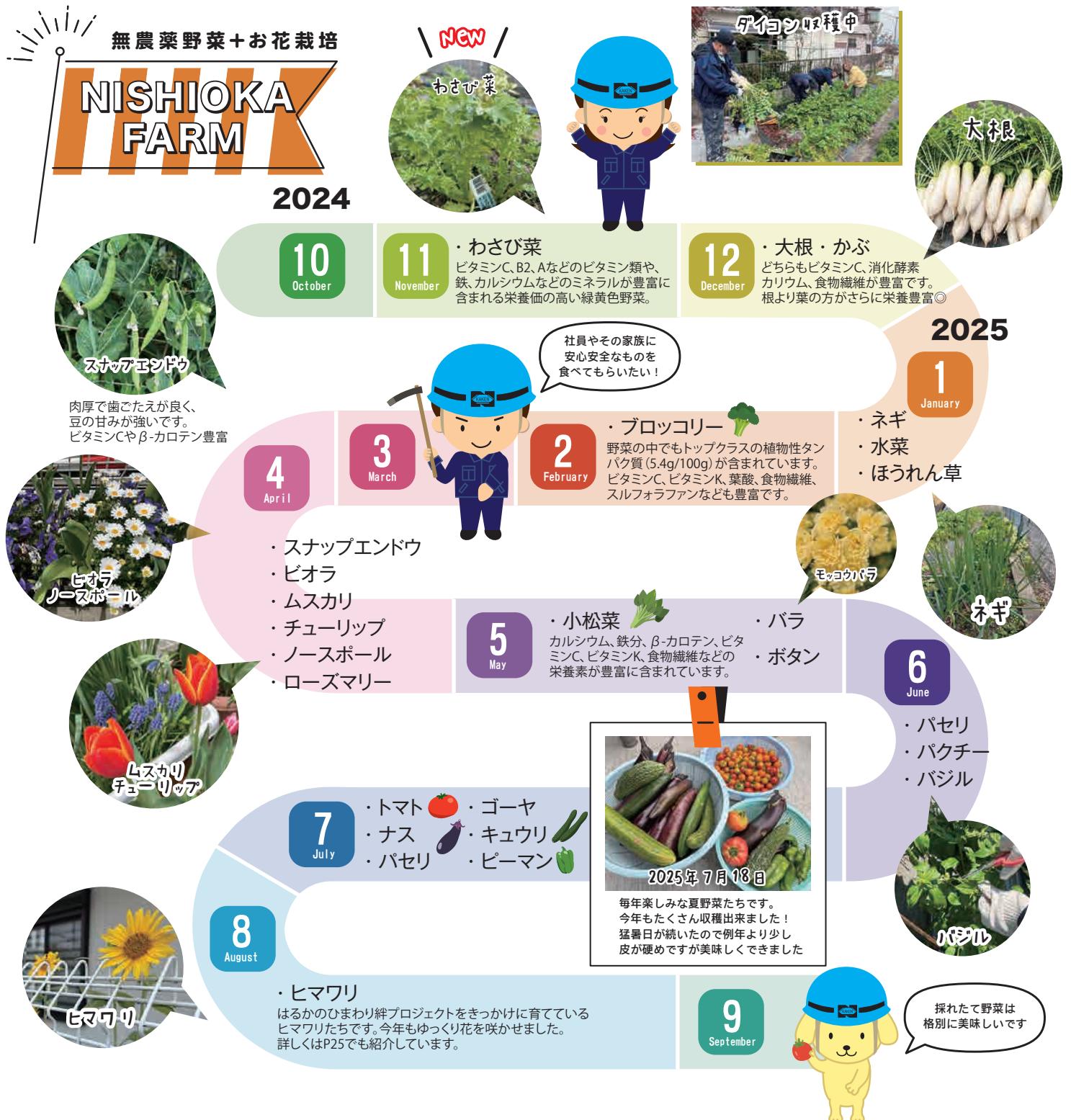


社員の健康づくりと働きやすい職場環境の実現に向けた取り組みの一環として、当社では会長が管理する畠で無農薬野菜の栽培を継続しています。会長は徳島で農家を営む家庭に生まれ育ち、豊富な経験と知識を活かして毎年多品種の野菜を丁寧に育てています。

野菜はいずれも有機肥料による無農薬栽培で、安心・安全な品質を保っています。社員で分担して収穫を行い、全員に配布しています。近年は野菜価格の高騰や食生活の偏りを感じる社員も多く、「家族にも喜ばれた」「野菜を自然と食べるようになった」といった声も寄せられており、健康的な食習慣の促進にもつながっています。季節ごとに旬の野菜や花の成長を楽しめるのも当社ならではの魅力です。

また、こうした日々の取り組みが評価され、当社は「健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門）」に認定されました。

今後も、社員の心と身体の健康を支える取り組みを継続し、健やかに働く職場づくりを進めてまいります。



大阪・関西万博で防水工事 スイス・関西両パビリオンに当社の技術が採用されました

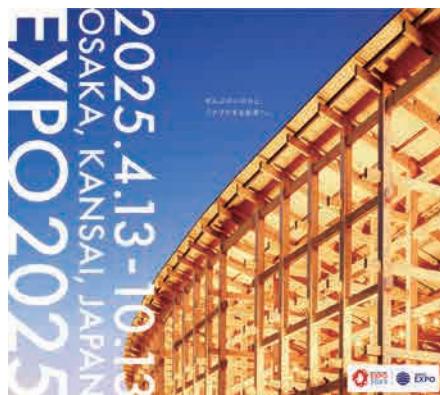


大阪・関西万博において、当社はスイスパビリオン内の床面防水工事および関西パビリオンのデッキコンクリート屋根部の施工を担当しました。

スイスパビリオンでは、館内に水を張る演出エリアの池の防水工事を行っており、シーカ・ジャパン株式会社の「コロテクトシステム（FRP防水工法）」を採用。優れた耐久性・耐水性・耐薬品性を備えており、当社でも多く使用している信頼性の高い工法です。

シーカ・ジャパン株式会社は、スイスに本社を構える建築資材メーカーです。スイスパビリオンのオフィシャルサプライヤーとして、万博では防水・接着・床材・塗装といった多彩な製品と技術的支援を提供。サステナビリティへの貢献と革新技術の発信を行っています。当社もその一翼を担う形で施工に携われたことを大変誇りに思っております。

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」にならい、当社も今後も未来につながる建設を目指し、安心・安全で持続可能な社会づくりに取り組んでまいります。



関西パビリオン

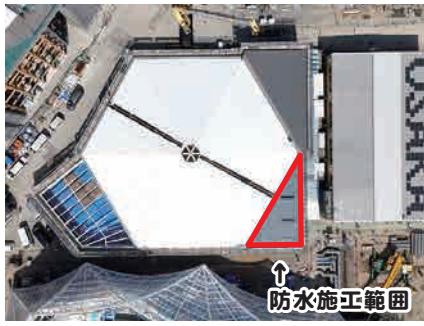


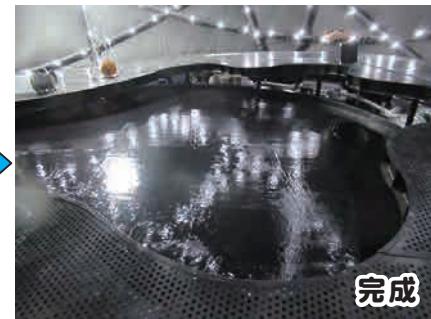
Photo: YouTube「[大阪・関西万博] 関西パビリオンの建設現場をドローンで撮影 (2024年6月)」 提供元: [株式会社掛谷工務店] https://youtu.be/dwW_qOAO-TQ?si=sddfESM9Pi8bb04-

空中写真(屋根部デッキコンクリート)

スイスパビリオン



施工中



完成

万博が開園してから実際に
スイスパビリオンを見に
行きましたが、シャボン玉が
浮遊する幻想的な部屋でした



Photo: © FDFA / Presence Switzerland (via Sika Japan)
スイスパビリオン館内の池

写真コンペ FRP 防水部門で佳作受賞

一般社団法人ディックプルーフィング工業会が主催する写真コンペに毎年参加しています。本年度は、FRP 防水部門にて「スーパーマーケット屋上駐車場」の施工写真が佳作に選ばれました。日頃から高品質な施工と技術力の向上に努めてきた成果が評価されたものと考えております。

ディックプルーフィング工業会は、シーカ・ジャパン株式会社の防水材および関連商品を使用する防水施工事業者で構成され、責任施工体制の確立、技術力向上、会員相互の交流を目的とする団体です。当社もその一員として、高品質で信頼性の高い防水工事の提供と業界発展への貢献に努めてまいります。



昨年「最優秀賞」を受賞した
琵琶湖文化館 大屋根防水工事



今年度「佳作」を受賞した
平和堂アループラザ水口店



スイスパビリオンでは新しい防水技術で宇宙の池を施工

2025年10月は弊社の創業から50周年という記念の年になります。個人創業の3年後に法人設立し、47期となる決算期末を9月に迎えました。記念すべき年に大阪では関西EXPOが開催され、その成功を祈り、報道も盛り上がっていきました。開催間近になった3月、外国パビリオンの建設最終工程が続いておりました中、弊社ではスイスパビリオンの内部展示、宇宙の池の防水工事と塗装工事を受注いたしました。以前より防水工事の材料について、その多くはスイスを本社とするメーカーより日本の商社を通じて購入しておりましたが、長いお付き合いと、年間使用量が多いに関わらずクレームなしということで弊社に工事のご用命が下り、大変喜びました。日本中から、外国から多くの人が訪れ観覧していただけたことを光栄に思いました。スイスパビリオンは大変な人気で、見物の順番待ちの人々が溢っていました。施工した宇宙の池は漆黒の闇の中に浮かび、目を凝らすと大きなシャボン玉のようなものが池の中から次々と現れ、空中に出てきたらパチンと割れます。中には宇宙の惑星の空気が入っているとかアナウンスがあり、興味深くシャボン玉の行方を追いかけました。

関西パビリオン、建物の屋根部デッキコンクリートの防水工事を施工

関西パビリオンは観覧予約が必要で残念ながら内部の観覧はできなかったのですが、白いテント張りの外回りから弊社が施工した建物の基礎工事を見てまわりました。会場となる夢洲はごみの埋め立て処分がされていたところで、たとえその上にバラスや土砂を重ねたとしても科学的なりユース処理がなされていない限り、ごみに含まれる成分が化学反応を起こして有毒なガスが発生したりすることを懸念されていました。場内のパビリオン工事中において溶接作業の火花が発生したガスと反応して火災を起こした現場がいくつかあり、報道されました。この場合の防水工事は下から湧いて出てくる水分の止水工事も含まれております。埋め立てられたごみと海水との隔ては完璧なものであろうかと心配な中に、開幕してすぐにウォーターエリアの海水にレジオネラ菌が含まれていると発表され、水と花火を楽しむ夜のイベントは暫く中止となりました。デザイン、性能性だけではなく会場に集まる人々の健康を一番に守ることが、防水、防食、止水工事の使命であると思いました。

会場から出るごみは完全処分に

万博から発生したごみは会場内ですべて仕訳けられ、金属、プラスチック容器や紙類、フードロスとなる食品関係もすべて新たな原材料に変わり、雑貨や家具などが出来上がる工場が作られていると聞きます。この工程は日本パビリオンにおいて持続可能な経済活動として見学者にアピールしています。実際の工場ではなくそのしくみ、工程をビジュアル化した展示で、実際のリサイクル工場に見られる誇りや汚泥、作業音などは無く綺麗なデザインで夢の世界のようでした。最後に水分が海に流せるきれいな水に精製されて、含まれた栄養分で海草や藻を作ることまで展示していました。その藻の一種、スピルリナが入ったドライ味噌汁を会場で配られました。私も頂戴しましたが、信じられない気持ちでまだ食するところまでは至りません。いずれこのように質量不変の法則とするリサイクル技術もレベルアップしていく未来があります。今回、総括は万博での環境設備工事に関する仕事や、学んだ持続可能な未来の環境に関するまとめました。



環境管理責任者 専務取締役 西岡 洋子

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年10月25日

今年度については、一般廃棄物、混合廃棄物、水道水および電力の二酸化炭素使用量が増加しています。廃棄物の増加については、駐車場防水工事の受注が大幅に増加したことが主な要因で、延べ 20000 m²以上の既存防水層を撤去した際に出た廃棄物（主に廃プラスチック）が大量に発生したことから、前年比 138%という数値になってしまいました。環境の指標においては数値が悪くなってしまいましたが、改修工事をして建物を長く使うという点では、SDGs の目標 11 番「住み続けられるまちづくりを」に大きく貢献していると思います。電力使用量および水道水については、この夏の異常な猛暑により、エアコンや水の使用量が増えたかもしれません。廃棄物については、施工面積の増加に伴い、増加してしまう指標であり、環境目標の達成状況が悪化したとは一概には言えません。売上に連動しない指標や実績値の評価方法を検討し、来年度以降は全ての目標設定を 100%とします。

なお、当社はこれまで行動指針の一つとして、グリーン購入およびグリーン調達を推進してきましたが、これらの考え方は、材料選定時の安全性確認、長寿命化施工、廃棄物削減等の取組にすでに反映されています。そのため、来年度以降の環境経営方針を見直していく考えです。

今年度の取り組みで評価できるところは、健康経営に力を入れたことです。健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門）の認定取得いたしました。社員一人ひとりの健康状況のチェック以外にも、ストレスチェックやメンタルヘルス面でも健康的に働ける職場作りを目指しました。会社は人が財産です。社員が心身ともに健康で働き続けられる職場環境を目指し、今後も引き続き健康経営に力を入れていきたいと思います。

エコアクション活動を始めてから今年で 14 年がたち、社屋の ZEB 化、労働環境の改善、環境負荷の少ない材料選定、リサイクル・リデュースと日々環境活動に取り組んでまいりましたが、継続することの難しさと新しく環境活動に取り組むことの難しさを感じています。社員とともに、環境保全に対するモチベーションを高めながら、少しずつでも出来ることを続け、持続可能な環境経営活動に邁進してまいります。

代表取締役社長 西岡 若菜

- | | | |
|-----------|-------------------------------|------------------------------------------|
| 環境経営方針 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり |

化学で変わる 建設の未来
Chemistry and Construction

 西岡化建株式会社

2025年度
環境経営レポート

最後までご覧いただき
ありがとうございました！

防水 まもるくん



カケンくん



塗床 麗子さん





防水工事 防食工事 塗床工事 塗装工事
駐車場改修工事 大規模改修工事



072-643-1125



info@nishiokakaken.com



<https://nishiokakaken.com>

本社 〒567-0072 大阪府茨木市郡5丁目21番17号

西岡化建株式会社

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



にしおかかけん

検索